

セイコウ・イシカワ駐日ベネズエラ大使

2022年6月28日、東京において

大使館仮訳

「我らがアメリカと米州首脳会議」

1. 国際システムの抜本の変容

2019年に新型コロナウイルスのパンデミックが始まって以来、国際システムに大きな影響が及んでいます。一方でロシアによるウクライナでの特別軍事作戦や欧米による違法な制裁を通じた強要政策が、近年まれに見るような状況を生み出し、国際システムの抜本の変容につながる構造的な変化を引き起こしています。

地球上のどの場所も、新しい時代の到来を告げる怒涛の出来事と無関係ではられません。ラテンアメリカ・カリブ地域も例外ではありません。

2. 米州首脳会議の示したもの

米州首脳会議は、世界の他の地域でも明らかになっているように、米国帝国主義の衰退を示しました。それだけでなく、ラテンアメリカ・カリブ地域におけるより大きな団結、自治、アイデンティティの出現を示しました。

米国の傲慢が拒否されたことは、ラテンアメリカ・カリブ地域が、国際システムの構造転換の必要性を示すような異なった精神を持っていることを証明するものです。

カリブ地域の諸人民は、その土地の尊厳と誇りをもって、先日のサミットにおいて新植民地主義の圧力への抵抗を示しました。

メキシコ、アルゼンチン、ペルー、チリ、ボリビア、そして最近ではコロンビアも加わりましたが、これらの国々は、諸人民の大多数の声に加わりました。平和、正義、独立を求める諸人民の声です。さらに他の国も加わることでしょう。これら人民は、民族主義的、愛国主義的、民主主義的な感情を示し、人民の解放に向けて戦い続けるでしょう。

3．ラテンアメリカ・カリブ地域に吹く追い風

経済力や政治的意志により、ラテンアメリカ・カリブ地域は国際政治の舞台で重要な存在になっていくと思われます。競争より協力を重んじ、ラテンアメリカの組織から米国やその介入的外交政策を排除するような、統合や地域の団結のプロセスを通じて、存在感を拡大していくでしょう。

ラテンアメリカ・カリブ地域に、政治再編の追い風が吹いていることは間違いありません。

私たちの地域では、ALBA-TCP やペトロカリブが、国民の利益のための代替的な統合モデルの国際的な砦であり続けています。これらの組織は、主権、外部からの支配への拒否、域内の開発のための統合を主な目的としており、単に西半球における統合の代替手段であるだけでなく、最も活発でダイナミックな統合手段となっています。

4．ベネズエラ・キューバが示した貴重な前進

ウゴ・チャベス大統領が南米諸国連合（UNASUR）、ALBA-TCP、ペトロカリブ、ラテンアメリカ・カリブ共同体（CELAC）を通じて提起したイニシアチブは、間違いなく、米国のいわゆる「パンアメリカン」主義の制度的支配を弱めました。

そして、地理、経済、人口、地政学といった面でこれまでにない規模を持つ、代替的で独立した、権力の軸を築くと考えられます。

我らがアメリカの尊厳ある人民に対する犯罪的な封鎖や制裁にもかかわらず、キューバは新型コロナワクチンを開発し、ベネズエラでは社会・領土的な感染防止策、情報提供による統治策が採られ、地域の他の国々でも感染拡大抑制の成功例があります。

こういった対策は、新型コロナ関連で残念な数字を記録している西欧と比して、また多くの国々がワクチンの買い占めに走り衛生管理面で効果の薄い対応をとっていた国際情勢において、評価されています。

5．唯一の方法はラテンアメリカ・カリブの統合

ラテンアメリカ・カリブ地域にとっては、大国が世界の均衡を探求する未来において居場所と存在感を確保する唯一の方法が統合なのです。

ベネズエラにとって、この新たな国際情勢は、国際システムで主導的役割を回復するのに有利に働きます。ニコラス・マドゥーロ大統領は最近、ユーラシア、中東、アフリカの6か国を外遊しましたが、これは中国・ロシア相手を除き我が国が孤立しているという神話を覆す素晴らしい事例です。孤立しているどころか、強力な地政学的影響力を持つ友好国・貿易相手国が世界の様々な場所にあるのです。

他にも様々な地域・経済分野で主導的役割を果たすようになっている国々があります。このことはBRICs拡大の可能性、つまり地球規模の事柄が新しい方法で管理され運営される構造ができつつあることに表れており、実効ある多極化が実現しつつあるように見えます。我々がアメリカは、この新たな構造の一員でなくてはなりません。

だからこそ、私たちは来るべき世界に表玄関から入らねばなりませんし、入ることができます。ボリバルが、マルティが、フィデルが、チャベスが唱え、我々がアメリカの尊厳ある大統領らが提起しているラテンアメリカ・カリブ地域統合のプロジェクトの完遂において、私たちが主導的役割を果たす条件が整っています。今のような変化の波が続けば、2023年は、2005年のマル・デル・プラタから続く道に回帰する年になるでしょう。米国が推進する米州自由貿易圏（FTAA）構想が、私たち諸人民の尊厳を前に敗北した時の道に。

2006年5月、チャベス大統領がインタビューで語った言葉です。「ボリバル主義は、偉大な国、偉大な祖国の自覚を取り戻す。つまり、諸人民の魂から発する、深い、真実の統合の自覚を取り戻すのだ。」

その未来に向けて、私たちは闘い続けねばなりません。どんな帝国も私たちは止められません。輝かしい未来が私たちを待っています。